



第4号

シルバー今治

題字 武田正春

<発行>

公益社団法人 今治市シルバー人材センター

所在地 〒794-0031 今治市恵美須町二丁目2番地の4

TEL 0898-22-2003

FAX 0898-31-3601

URL <http://imabari-silver.jp/>

Eメール imabari.sjc@fancy.ocn.ne.jp



進水式

写真 青野喜代松

おめでとうございます。

平成24年5月28日に開催された第1回定時総会において会員20名の皆様が表彰されました。これからも引き続き元気に就業してください。



表彰者

会員

小池 康憲・宮城 道子・山下 晶男・中武 元次
尾鷹訓二郎・守屋 光子・真部 康幸・川村 賢二
桧垣 重一・中村 宗夫・得田 光子・桧垣レイ子
問谷 満雄・十亀 米子・八木 和子・矢野 健二
金吉 幸一・山田啓一郎・信木 昭子・阿部 辰男

(敬称略)

公益社団法人今治市シルバー人材センター表彰規程

第2条 第3号

会員表彰は、センターの会員として年度をもって定め10年以上在籍し、現在も引き続き就業しているもの。

総会のようす



平成24年5月28日に、公益社団法人に移行して初めての、第1回定時総会が中央住民センターで開催されました。委任者576名を含む831名の正会員の方々が出席しました。
上程された、1号から5号議案は、満場一致で可決承認されました。

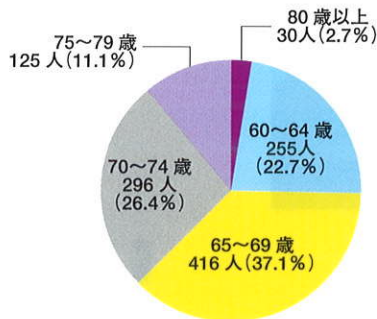


ロビーでは、20名の正会員の方々が出品してくださった力作（写真・絵画・手芸作品・木工製品・俳句等）43点を展示し、たくさんの方々に見て頂きました。



高齢者の振り込め詐欺被害が、後を絶たないため、今治警察署生活安全課 矢原健吾様を講師に迎え、「振り込め詐欺対策について」と題して講習会を開催しました。振り込め詐欺の巧妙な手口を挙げ、適切な対応のしかたを学びました。

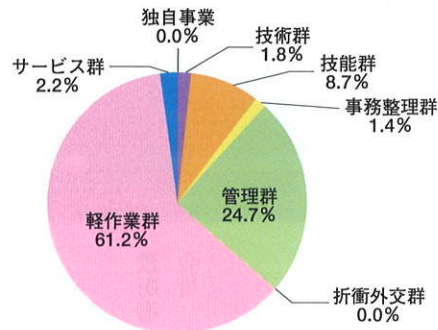
年齢構成



会員数 男 878人 女 244人 計 1,122人
(3/31日現在)

会員の状況

職群別契約額比率



契約総額 453,525,534円

事業実績



役員一同よろしくお願いたします。

理事 曾我部 勝
理事 川口 義輝（新任）
理事 吉井 千恵子（新任）
理事 山岡 德行
理事 村上 忠男
理事 村上 省二
理事 三好 康生（新任）
理事 松尾 幸二
理事 檜垣 一彦
理事 長井 哲司（新任）
理事 高須 泰裕（新任）
理事 井出 サツミ
理事 阿部 正志
理事 青野 勲
常務理事 日之西 正樹
副理事長 吉田 功
理事長 大沢 英之

新役員を紹介します

（任期は平成26年度定時総会開催日まで）

会員ひろば

永年表彰受賞者座談会(抄録)

平成24年7月9日



受賞者 八木和子さん・中武元次さん・尾鷹訓二郎さん
聞き手 村上省二・井出祥治・越智広孝の各広報委員

受賞者3人に主に次のようなことを話してもらいました。

1 センター入会の動機について
2 最初の仕事は何でしたか

3 センターでの就業で、良かったこと・悪かったことの思い出はありますか
4 どのような仕事でしたか
5 今後、何歳まで続けたいですか
6 センターへの要望はありますか



八木 和子さん

1 介護講習受講後、登録の勧めがあり、登録しました。
2 市営団地(空き家)のそうじを半年くらい。その後は、在宅(訪問)介護をしました。当時は3級の資格を持っていました。

3 仕事を辞めていても指名され、うれしかったです。介護の仕事は、自分の家族のような気持ちで就業しました。今している仕事は、接客がものすごく楽しいです。人との出会いが嬉しいので、辛いことはないです。
4 今の慣れたところがいいです。体力がある限り仕事は続けたいが、分かち合い就業で期限があるから残念です。



中武 元次さん

1 62、63歳の頃、友達に誘われ、生活費の足しにと思い入会。

2 最初は催し物の手伝い(ワールドプラザ)。この10年で、いろいろな仕事を体験できました。

3 指名がいちばん嬉しかったです。
4・5 剪定でもなんでもしたいです。体力だけは自信があるので。未だに病院に行ったことはないですよ。焼酎は飲みますけど(笑)。



尾鷹訓二郎さん

1 造船の仕事をしていた時、今の剪定仲間から声をかけられて登録しました。剪定の経験は無かったので、職業訓練校で技術習得をしました。
2 剪定の仕事をずっとしてきました。暑いときが一番辛いです。

4・5 現在77歳ですが、まだ剪定は出来ます。心がけは、怪我をしないように、丁寧なことに。仕事は一人の方が気楽でいいですね。依頼者からの苦情はなく、同じ依頼者から指名され、次々と仕事を頼まれるのがうれしいです。



川田 晃

「篆刻」〜てんこく〜を楽しむ



私と篆刻との出会いは、今から15年前。老後も楽しめる趣味として友人に勧められ、九州の篆刻家に弟子入り、今ではすっかりその魅力にはまっています。

篆刻は、篆書を刻することから篆刻と呼ばれ、石、木などに印を刻することですが、現在では隷書、楷書、かな等各書体を刻することもすべて「篆刻」と呼ばれています。「認印」などのハンコかというところではありません。篆刻にいう印には、書としての筆意と美しさが求められます。いかに味わいや面白さを出すか、個性的に刻するかが重要で、書の一分野として位置づけられています。

篆刻には様々な楽しみがあります。一つには、文字を構成する楽しみ。

これは、下書きとなる印稿作りです。自由な造形感覚をもって、決められた枠の中に文字を構成していきますが、線の表情、躍動感、静と動・白と朱のバランスや空間処理などすべてを凝縮していく喜びを実感できます。「印影」の美しさに直結するだけに一番気を使うところであり、何度も修正に修正を重ね、全体の三分の二はこの作業にあたります。

二つには、印刃で緊張感をもって石にガリガリと立体的に刻る楽しみです。最後が、刻った印を押す楽しみです。紙の上に小さな朱・白の世界がくつきりと現れます。彫り上げたものが反転して現れるので一段とおもしろさが増します。こうして出来上がった印は、蔵書印、年賀状の印、書画の落款印として使えますし、親しい人に差し上げても喜ばれます。

私が今日まで篆刻を続けてこられたのは、良い師匠に出会ったこと、言うまでもありませんが、所属する会では、年に二回会員が一堂に会し、研修会が行われており、会員同士の熱心な篆刻への取り組みを見聞きすることで刺激を受け、自分も頑張らねばと奮い立つからです。また、毎日展などへの出品も大きな励みとなっています。無心に篆刻に集中できる時間を持つことに幸せを感じ、印刃を握っています。

センターからのお知らせ

○公益社団法人スタート！

従来の公益法人は、公益法人制度改革に伴う「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」をはじめとする関係法令の施行により、平成25年11月末日までに新制度における公益法人への移行申請を行わなければ、解散をしなければならぬことになっています。

このことにより、今治市シルバー人材センターは新法人への移行事務を進め、平成24年4月1日から公益社団法人として新たにスタートを切りました。

認定機関による詳細な審査の結果、公益性の高い事業を行う団体として愛媛県から認定を受けたもので、高い社会的信用を得ると同時にその責任の重さも増しました。

補助金や寄付金を受けやすくなるほか、公益目的事業は非課税となる等の特典がありますが、事業運営に関しては、より厳しい取扱いが求められ、今まで以上に公益性や地域社会への貢献度を高める必要があります。

今後も、今治市シルバー人材センターは、活力ある高齢社会を支える地域の中核組織として、役職員一丸となって、魅力あるセンターづくりに取

り組みますので、会員の皆様のご協力をよろしくお願い致します。



イラスト 川田 晃

○安全就業で表彰されました。

公益社団法人 愛媛県シルバー人材センター連合会が行う定時総会において、当センターの会員 藤原勝正さん、八塚照男さん、矢部勇二さんが、安全就業優良センター等表彰「個人部門」(年間60日以上就業し、過去7年間無事故であること)において表彰されました。おめでとうございます。



藤原勝正さん(左)
八塚照男さん(右)

熱中症にご注意を！

熱中症は、適切な予防をすれば防ぐことができます。熱中症を正しく理解し、予防に努めましょう。

室内で、熱中症になる場合もあります。適度な室内温度の調整を心がけましょう。

事故発生状況

傷害事故5件(通勤途上・就業中)
損害事故4件(ガラス破損等)
事故が多発しています。安全に気を付けて、就業してください。

シルバー今治第5号の表紙に掲載する写真の募集について

発行は来年1月予定

【題材】自由

大きさはL判

【募集締切】11月9日(金)

広報掲載記事の募集について

【テーマ】

・就業体験談・趣味の話題等

なんでもOKです。

【文字数】400字程度

【原稿締切】11月9日(金)

作品、記事の提出先は、いずれもセンター事務局です。

○就業相談会のお知らせ

毎月第1木曜日(平成25年1月は、7日(月))午後1時より、センター2階で就業相談会を開催しています。

就業についての相談がありましたら、お気軽にお越しください。

配分金支払日

9月18日(火)
11月15日(木)
10月16日(火)
12月18日(火)

会員数

男	900人
女	246人
計	1,146人

(7月末現在)

編集後記

四号をお届けします。公益社団法人になり、一号でもいいが、歴史を引き継ぐために号数はそのままにします。今回永年表彰受賞者にお話を伺った。お三方に共通して驚かされたのは、健康そのものであること。人柄の良さ、明るい性格などです。見習いたいですね。

二人以上で仕事をするとき、我々の歳では意見が食い違うこともままあります。ただそんな時、相手に対しいえらそうにしないことは、自分の意志でできます。元総理であろうと普通のサラリーマンであろうと、会員になれば横一線です。威張ったり、威嚇したり、小馬鹿にしたりをやめましょう。そうすれば、ひよっとしたら仲良くなれるかもしれません。お試しあれ。(越智)